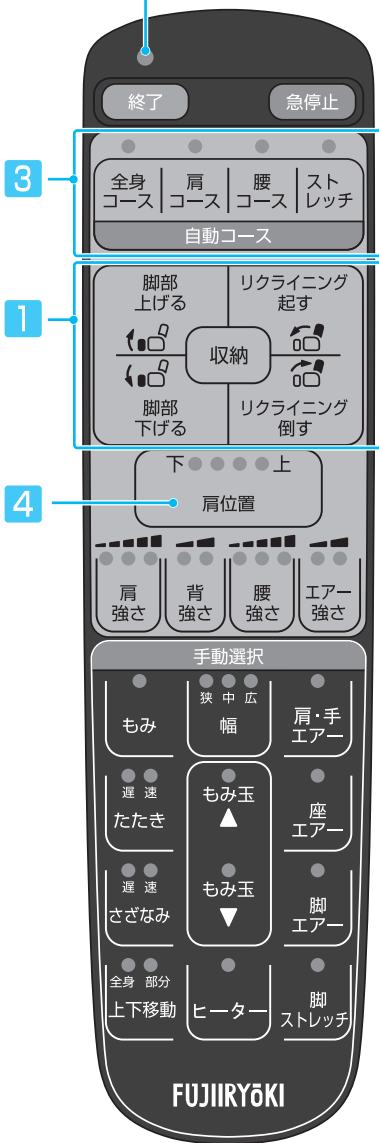


カンタン操作ガイド

主電源ランプ



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

自動コース

1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

脚部： を押すと脚部が上がります。

を押すと脚部下がります。

背部： を押すと背もたれ部が、起き上がります。

を押すと背もたれ部が、倒れます。

2 脚部右側の脚部反転レバーを引いて、お好みの状態（脚もみ、フットレスト）に回転させてください。

3 からお好みのコースを選択してください。

※選択した自動コースのランプが点灯します。

4 自動コースを押すともみ玉が肩位置を自動的に検知します。

検知した肩位置は、 を押すと変更できます。



自動コースの種類

- 全身コース 全身のコリや疲れをやわらげるコースです。
- 肩コース 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコースです。
- 腰コース 腰のコリや疲れをやわらげるコースです。
- ストレッチ ストレッチ動作を中心としたマッサージコースです。

自動コース動作中の調節

肩位置を調節したいとき

肩位置 で好みの肩位置に調節します。
● 肩位置は、7段階から選択できます。

肩の強さを調節したいとき

肩強さ で好みの強さに調節します。
● 肩強さは、5段階から選択できます。

背の強さを調節したいとき

背強さ で好みの強さに調節します。
● 背強さは、2段階から選択できます。

腰の強さを調節したいとき

腰強さ で好みの強さに調節します。
● 腰強さは、5段階から選択できます。

足裏ヒーターを「入/切」したいとき

ヒーター を押します。
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ 足裏ヒーターは、脚エアー動作中にのみ設定できます。

エアースタレ強さを調節したいとき

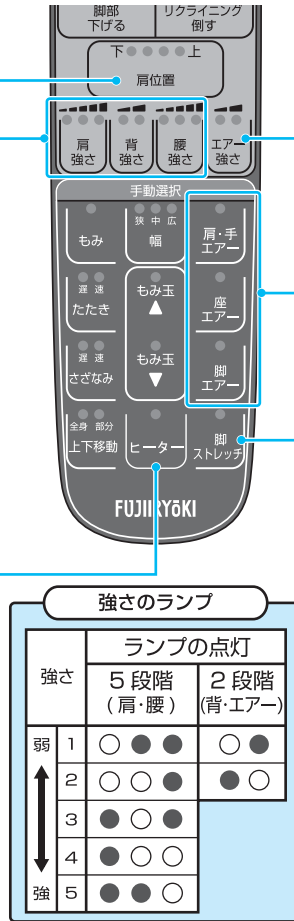
エアースタレ強さ で好みの強さに調節します。
● エアースタレ強さは、2段階から選択できます。
※ エアースタレの強さ調節は部位ごとに調節できません。

肩・手、座、脚エアースタレを「入/切」したいとき

肩・手エアースタレ **座エアースタレ** **脚エアースタレ** を押します。
● それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ 脚ストレッチが「入」の状態では脚エアースタレを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

脚ストレッチをしたいとき

脚ストレッチ を押します。
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ 脚ストレッチが「入」の状態では脚エアースタレを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。



ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- 次の人は使用しない。(身体に異常が起こる場合があります)
 - 医師からマッサージを禁じられている人。
 - (例: 血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈硬化(瘤)、急性静脈血栓(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- 次の人は、使用前に医師に相談してください。
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
 - 悪性しゅよう(腫瘍)のある人 ● 心臓に障害のある人 ● 妊娠中、または出産直後の人
 - 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ● 温度感覚喪失が認められる人
 - 皮膚に創傷のある人 ● 安静を必要とする人
 - 体温38℃以上(有熱期)の人
 - (例: 急性炎症症状 [けん(倦) 怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期、衰弱しているとき)
 - 骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折をしている人、捻挫、肉離れなどの急性 [とう(疼)痛性] 疾患の人
 - 背骨(脊椎)に異常のある人、または背骨が左右に曲がっている人 ● 椎間板ヘルニア症の人
 - その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人
- リラクゼーションするときや脚部を動かすときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やペット、物がいないことを確認する。
- 使用前には、必ず背パッドを上げて背もたれ部のカバーが破れていないか確認する。また、その他の部分にも破れがないか確認する。(どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)
- 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。
- お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。
- 動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先または当社のお客様相談窓口にて点検・修理を依頼する。